

平成 24 年度 第 2 回大台ヶ原の利用に関する協議会

議事概要（案）

■ 日 時 平成 25 年 3 月 19 日(火) 13:30～15:40

■ 場 所 川上村役場 2F 第 1 会議室

■ 出席者

環境省近畿地方環境事務所 吉野自然保護官事務所 大台ヶ原ビジターセンター	河原 武 統括自然保護企画官 藤井 好太郎 国立公園・保全整備課長 坪倉 真 用地・国有財産専門官 七目木修一 自然保護官 小川 遥 自然保護官補佐 福嶋 千草
国土交通省近畿運輸局	(ご欠席)
林野庁近畿中国森林管理局	(ご欠席)
奈良県地域振興部	(ご欠席)
奈良県くらし創造部景観・環境局	自然環境課 深見 昭一 係長 福嶋 啓一
奈良県土木部	道路管理課 森川 正行 係長 吉野土木事務所用地・管理課 中川 良一 課長 山根 祥光 係長 吉野土木事務所上北・下北復旧復興課 松岡 敏郁 係長
奈良県警察吉野警察署	交通課 山西 雅志 課長 生活安全課 朝倉 宏文 係長 河合駐在所 鍵谷 和宏 所長
三重県農林水産部	(ご欠席)
上北山村	建設産業課 遠藤 学 主幹
川上村	地域振興課 大前 卓巳 主任
大台町	(ご欠席)

上北山村議会	(ご欠席)
上北山村観光協会 上北山村区長会	更谷 昌美 会長
上北山村漁業協同組合	(ご欠席)
上北山村商工会	金岩 修平 経営指導員
上北山村山岳救助隊	辻井 隆之 主事
奈良県猟友会上北山支部	稲葉 政弘
(財) グリーンパークかわかみ	(ご欠席)
特定非営利活動法人 大杉谷自然学校	(ご欠席)
山岳ガイドクラブ 北山いこら	鎌田 誠明 会長
奈良県勤労者山岳連盟	由良 行基周 自然保護委員長
奈良県山岳連盟	藤本 直民 理事長
近畿日本鉄道株式会社 鉄道事業本部	(ご欠席)
奈良県タクシー協会	(ご欠席)
奈良交通株式会社	葛城営業所 刀谷 茂樹 所長
公益社団法人 日本山岳会関西支部	斧田 一陽 自然保護委員長
特定非営利活動法人 森と人のネットワーク・奈良	(ご欠席)
大台ヶ原パークボランティアの会	(ご欠席)
ワーク21上北山	(ご欠席)
吉野きたやま森林組合	森岡 哲也 参事
一般社団法人 心湯治館	城内 勲 代表理事
自然を返せ！関西市民連合	田村 義彦

<事務局>

(株)スペースビジョン研究所	安場 浩一郎 幡 建樹
----------------	----------------

■ 議 事

- (1) 西大台利用調整地区の制度上の課題について
(環境省近畿地方環境事務所、上北山村商工会)
- (2) 上北山村による平成24年度の取り組み及び平成25年度の予定について (上北山村)
- (3) その他

■ 議事概要

- (1) 本協議会の構成機関の変更について

※議事の前に、事務局より、以下の点が提起され、参加した各構成機関の了承を得た。

- ・「大台ヶ原・大峰の自然を守る会」の解散に伴い、同会は本協議会の構成機関としての資格がなくなったが、代表である田村義彦氏には、「自然を返せ！関西市民連合」の構成員として引き続き参加していただくこととする。
- ・「トレック北山」は、同団体の意向により本協議会を脱退する。
- ・新たに組織された団体「大台・大峯植生談話会」にも、同団体の意向を確認した上で、次回協議会より参加してもらうこととする。

（２）西大台利用調整地区の制度上の課題について

○西大台利用調整地区の利用状況について

- ・現在の利用者数が少ないという話があったが、単純に数字のみを見るのではなく、利用調整の開始前と利用者の性質が変わり、初心者や団体ツアー客が多くなっている点にも留意する必要がある。
- 数字だけが一人歩きしないように、質の高い利用の促進を図っていくことが重要と考えている。また、特定の時期への集中を避けて、利用者数の平準化を図っていくことも重要な課題である。
- ・初心者が秩序のもとに自然に親しむと言う点で、バスツアーにも意義があるが、西大台の利用において、バスツアーが警戒すべき利用形態であるという点は、認識してほしい。

○手続きの改善について

- ・当日の認定を受けることが出来るように、事務手続きのあり方を検討してほしい。
- 当日認定に対するニーズや現在の実態、費用対効果等を踏まえて検討し、指定認定機関とも相談しながら、対策を検討していきたい。
- ・現在の認定事務手続きは、指定認定機関の負担によって成り立っている部分があるのではないか。手続きをさらに改善していくために、環境省は、指定認定機関を支援する必要がある。
- 手数料収入で事務手続きを行うことが、法律で定められており、当面は、運用面で対応可能な課題について、環境省としても改善に取り組んでいきたいと考えている。

○1グループ当たりの人数について

- ・1グループ当たりの上限人数は、現行の10人より、もう少し多くしてもよいのではないか。
- 観光バスツアーが増加する危険性があるため、10人以上にするべきではない。
- ガイドをする上でも、1グループ10人は妥当な数字と考える。
- ・踏み荒らしが起らないような配慮をすれば、歩道外の通行を許可してもよいのではないか。
- 西大台の植生は、現在も脆弱な状態が続いており、慎重に検討する必要があると考える。

○既存以外のルートの利用について

- ・短時間で行けるコースなど、多様なコースの設定について検討してほしい。
- ・路線バスの時刻等により、西大台で行動できる時間が限られる場合があるため、経ヶ峰のルートを開放することで、短時間で回れるコースをつくってほしい。
- 既存の歩道以外の利用については、今後の検討課題としたい。

○レクチャーについて

- ・レクチャーの開始時刻について、現在よりも早い時間、あるいは遅い時間にもレクチャーを実施してほしいという要望が多い。特に千石嶺に登るクライマーから、このような要望が多く出ている。
 - ・前回の協議会で議題となった、レクチャーの有効期限を2～3年に延ばしてほしいという要望に対して、回答を聞かせてほしい。
- レクチャーは直前に受けることにも意義があると考えます。また、現在、1年単位で受講歴を管理しているので、2～3年に延長した場合の情報管理の仕方を検討する必要があります。また、事前レクチャーは、法律に基づく告示で定められている事項であるため、簡単には変更できません。これらを踏まえて、慎重に検討する必要があると考えています。

○クライミングに関する課題

- ・千石嶺でクライミングをするためには、歩道外を歩く必要があります。西大台では、原則的に歩道外の通行を認めていないため、問題があるのではないかと。
- クライマーを排除しないという方針に基づいて、千石嶺に最短で向かう利用であれば、例外的に歩道外の通行を認めています。
- ・その問題を解決するために、利用調整地区の南側の境界線を、千石尾根の旧歩道のラインに変更して、千石嶺を利用調整地区から外してはどうかと。
- 利用実態を把握した上でさらに検討を行うこととしたい。

○バスの時刻の改善について

- ・現在の大台ヶ原へのバスの到着・発車時刻では、西大台を利用できる時間が限られてしまうため、バスの時刻の改善について検討してほしい。
- 大台ヶ原のバスについては、西大台の利用者だけでなく、様々なニーズがあり、大阪から大台ヶ原へ行く場合の時刻設定などについても考える必要があるため、すぐに時刻を変更することは困難である。

(3) 上北山村による平成24年度の取り組み及び平成25年度の予定について

※上北山村より平成24年度の大台ヶ原に係るイベント等の取り組みの実績と、平成25年度の予定について報告がなされた。

(4) その他

○歩道の整備について

- ・滝見尾根を下りて、千石尾根に登るルートは、かつては一般の登山者に利用されたルートであったが、現在は通行禁止になっている。これらをしっかりと整備して、利用できるようにしてほしい。
 - ・これらのルートを通行可能にするのであれば、環境省や県等で協議し、事故が起きないように、しっかりとした整備を行ってほしい。
 - ・筏場道が通行禁止になっているが、今後の見通しについて聞かせてほしい。
- 筏場道は、現在、奈良県が執行している。今後、環境省が直轄で整備するかどうかについては、

奈良県全域の国立公園の歩道を見直して、地域の要望、利用者数などを踏まえて、優先順位を決めて、優先度の高い箇所を、直轄で整備していく予定である。筏場線についても、全体的な見直しの中で、地域の声を聞きながら決めていきたいと考えている。

- ・筏場線、大台ヶ原を代表する古道なので、その点も踏まえて検討してほしい。

○交通対策について

- ・大台ヶ原ドライブウェイにおける追い越し車線の整備について検討してほしい。

→地形上の制約から、大台ヶ原ドライブウェイでは、これ以上幅員を確保することは難しいと考えられる。

- ・ドライブウェイについては、平成 23 年の決壊箇所の復旧工事は終了した。25 年度は、斜面の補強工事を 2 箇所、小規模な路肩の復旧工事を 12 ヶ所、一部の舗装の補修工事、維持管理に必要な維持修繕工事などを予定している。通行規制等で迷惑をかけるが、ご理解、ご協力をお願いしたい。

- ・大台口トンネルを起点として、国道 169 号、大台ヶ原ドライブウェイ・大台口トンネル、村道を、繁忙期に限って一方通行にすることで、混雑の緩和にメリットがあると考えられるので、検討してほしい。

→（事務局）今後の関係機関での検討課題としたい。

- ・パーク&バスライドの取り組み状況について、経過報告をしてほしい。

→（事務局）現状を踏まえながら、渋滞緩和対策など出来る対策から取り組んでいきたいと考えている。

○協議会構成機関の追加について

- ・大阪府山岳連盟及び三重県山岳連盟にも、本協議会に入ってもらえるように、検討してほしい。

→（事務局）事務局の方から、各山岳連盟の意向を確認し、趣旨に賛同いただければ、入っていただく方向で進めたい。